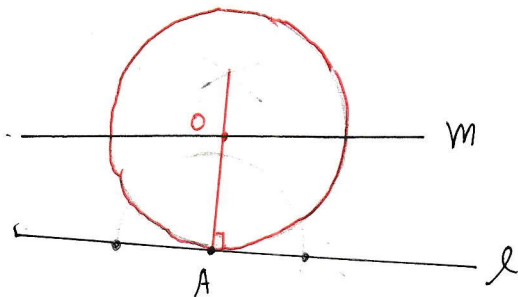


- ② 中心が直線 m 上にあり、点 A で直線 l に接する円を作図しよう。



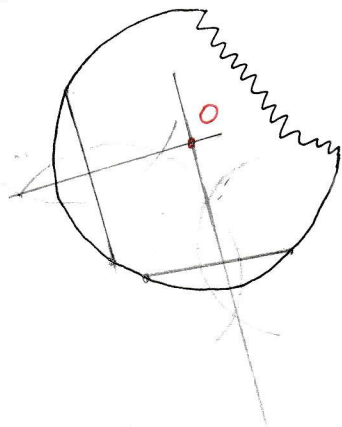
まず、点 A が接点となり、直線 l が接線となることを理解する。
円と接線は 90° になるため、垂線を使います。

点 A に針をさし、 l に2カ所 EP をつけ、2カ所に針をさし、コンパスの交わるところを書きます。
そこで A を結んだ線を引き、ここは必ず 90° となります。

垂線を今引きましたが、この上に糸を対に中心があります。中心が m の上にあると言ってくれているから、線 m と垂線がぶつかったところが中心 O となります。

「円を作図したい」とあります。中心は O 、接点は A 、ということは、 OA が半径ということになります。
 O に針を刺し、 A をはかります。ぐるりとコンパスをまわすと円が描けます。

- ③ 割れた円形の皿の中心 O を作図しよう。



適当に2本弦を引く。
弦が引けたら、2点で垂直二等分線を引き。

2つの垂直二等分線が交わった点を中心 O となります。